

はり えんじゅ

針 槐



ア 頭
カ 感性
シ 視野
ア 汗

西合志中学校
学校だより 5月号
令和2年5月21日

発行責任者 平尾 健吾

学校にある「ニセアカシア」は北米原産のマメ科ハリエンジュ属の落葉高木。和名は「針槐」（はりえんじゅ）といひます。

今は「高名の木登り」で在りましょう！



入学式4/9



令和2年度

新入生 124名
2年生 103名
3年生 90名
生徒総数 317名
総職員数 39名
西中総勢 356名

よろしく

願ひします！

新年度がスタートして一月が経ちました。規模を縮小しながらも令和2年度の入学式を4月9日に予定どおり実施し、気分を一新して新年度に臨んでいたところでした。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大は治まることなく、再び臨時休校にしなければならなくなりました。誠に残念であり、生徒達にはすまないという気持ちでいっぱいです。ゴールデンウィークを過ぎ、感染者数も減少し、収束に向けてあとひと頑張りという状況になってきました。学校も今月25日から再開の予定です。

この段階になり、中学校でならった徒然草の「高名の木登り」という随筆を思い出しました。この話は木登りの名人に木登りの心得を聞いて感心したという話です。原文と現代語訳を下に載せます。

この話、今の状況に当てはまらなんでしょうか。新型コロナウイルスの感染が拡大していた頃は、みんなが行動の自粛を行い、「三密」を避け、「手洗い」「ステイ・ホーム」に懸命に努めます。しかし、緊急事態が終了に向かう段階では気が緩み、無防備になってしまう傾向にあります。「あやまち、やすき所になりて、必ずつかまつることに候ふ。」のとおり、収束に向かうこの時期に最大の注意が必要なのでしょう。

学校が再開しても「三密」を避け、「手洗い」「消毒」を今までどおりこまめにおこない、家に帰れば「不要不急」の外出を避けることを忘れてはなりません。何百年も前の吉田兼好さんが私たちに警告してくれています。

【原文の一部】

高名の木登りといひし男、人を拵て、高き木に登せて梢を切らせしに、いと危ふく見えしほどは言ふこともなくて、降るときに、軒たけばかりになりて、「過ちすな。心して降りよ。」と言葉をかけ侍りしを、「かばかりになりては、飛び降るとも降りなむ。いかにかく言ふぞ。」と申し侍りしかば、「そのことに候ふ。目くるめき、枝危ふきほどは、己が恐れ侍れば申さず。あやまち、やすき所になりて、必ずつかまつることに候ふ。」と言ふ。

【現代語訳】

木登りの名人と評判されていた男が、人を指図して、高い木に登らせて、梢を切らせた時に、(高い所で)とても危うく見えた間は何も言わなくて、降りる時に、軒の高さぐらいになってから、「あやまちするな。用心して降りよ」と言葉をかけましたので、(見ていた私が)「これぐらい(の低さ)になっては、飛び降りるとしても降りれるだろう。どうして(今ごろになって)そんなことを言うのか」と申しましたところ、「そのことでございます。高くて目がくらくらし、枝が(折れそうで)危い間は、本人が恐れ(用心し)ていますから、(私は何も)申しません。過失というもの、安心だと思ふ所になってから、必ずしでかすものなのです」と言う。

行事予定・連絡事項

★体育服登校

5/25(月)～29(金)

分散登校 午前 午後

出席番号の奇数と偶数で班分け

月・火・水 奇数が午前、偶数が午後

木・金 偶数が午前、奇数が午後

給食なし

6/1(月)

学校再開予定

簡易給食予定

感染防止策

三密を避けよう！



換気をするモン
#OpenWindow



手を洗うモン
#WashHands



くっつかないモン
#KeepDistance

「マスクの着用」

「大声や近距離での会話自粛」
「うがい・手洗いの励行」

規則正しい生活習慣

「早寝・早起き・朝ごはん」

※ハンカチ・ティッシュ(消毒用)を持参しましょう。